

「都市計画道路田中笠窪線」及び「(仮称)伊勢原総合車両所」 の建設計画に係る説明会

令和5年2月
伊勢原市都市部都市政策課
伊勢原市土木部道路整備課
小田急電鉄(株)交通企画部

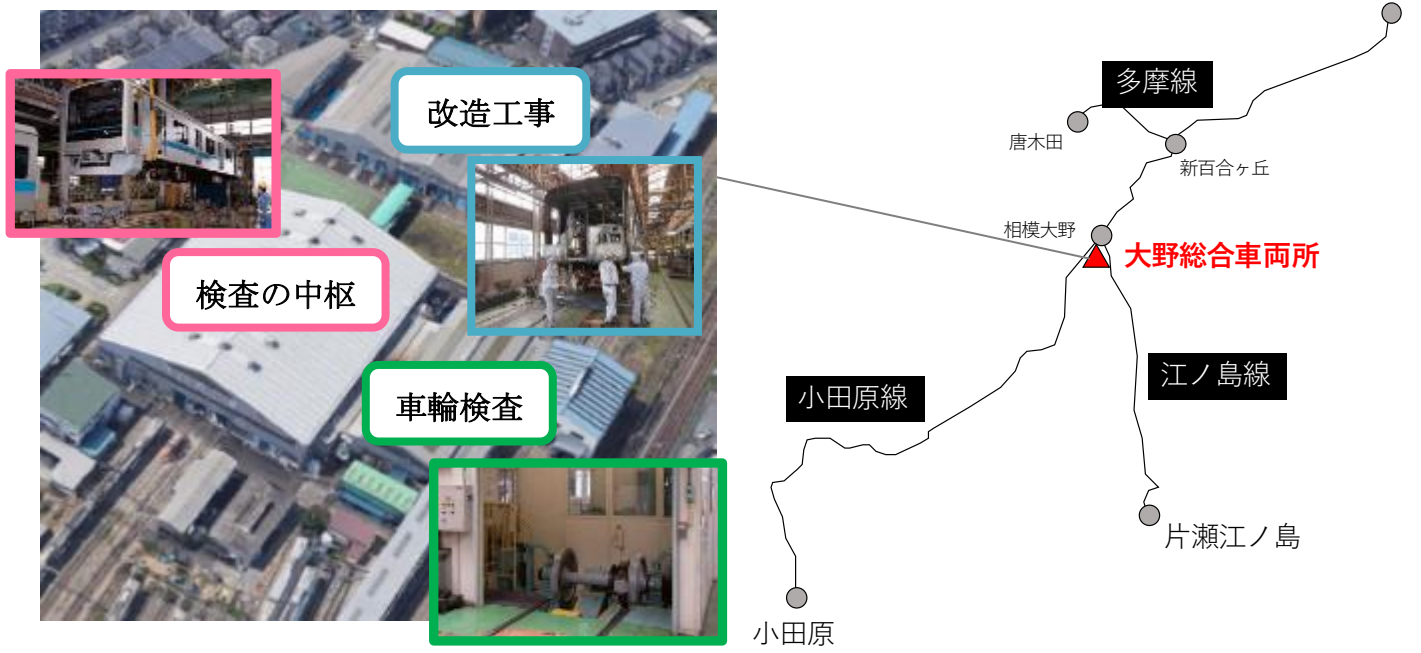
【問い合わせ先】受付時間：平日 10:00～17:00
説明会全般：伊勢原市役所都市政策課 脇坂、大園 0463-94-4742 (直通)
道路事業関係：伊勢原市役所道路整備課 常世田 0463-94-4812 (直通)
総合車両所関係：小田急電鉄株式会社交通企画部 岡本、水原 03-3349-2302 (直通、2/17迄)
令和5年2月20日から社屋移転のため連絡先が変わります 046-236-2611 (直通、2/20以降)

1 小田急電鉄(株)の総合車両所建設計画について

(1) 大野総合車両所とは

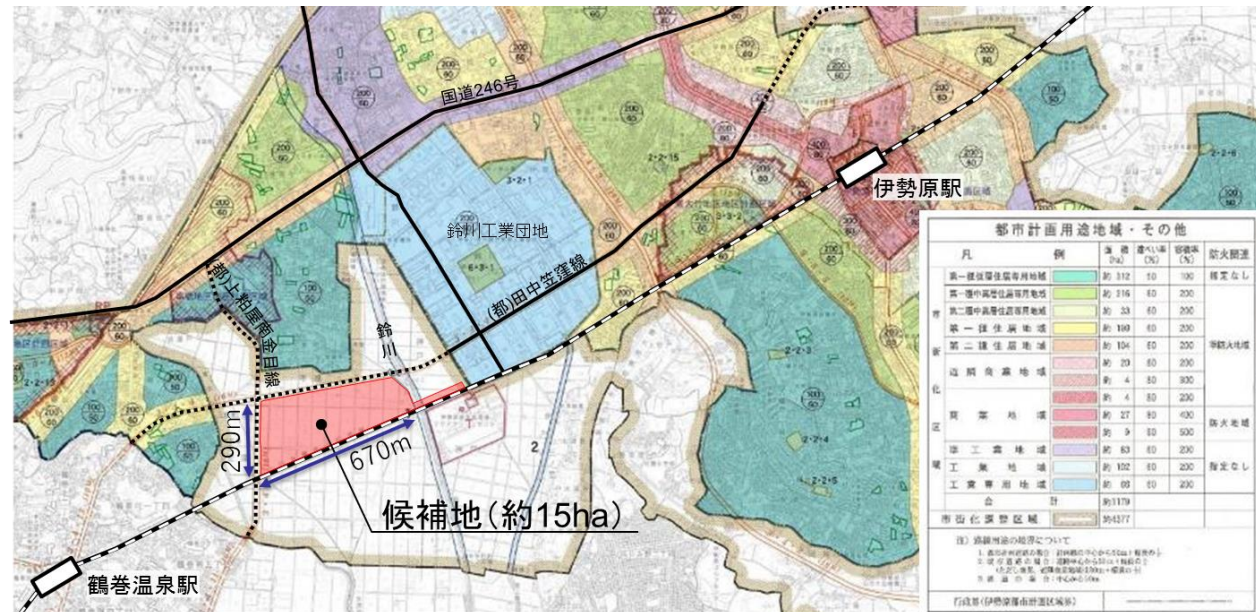
大野総合車両所は、相模大野駅の隣接に立地し、「①車両細部の大がかりな検査」や「②車両の日々の点検・整備」を行う小田急電鉄における唯一の施設です。

当該施設は、築年数が約60年となり、施設・検査用設備機械の老朽化や、現行車両規格に対応していない環境下での検査等の課題がある中で、年間を通じて稼働している状況であるため、現在の敷地では建替が出来ず、新たな場所に移転して建て替えることが必要となります。



(2) 移転先候補地の選定

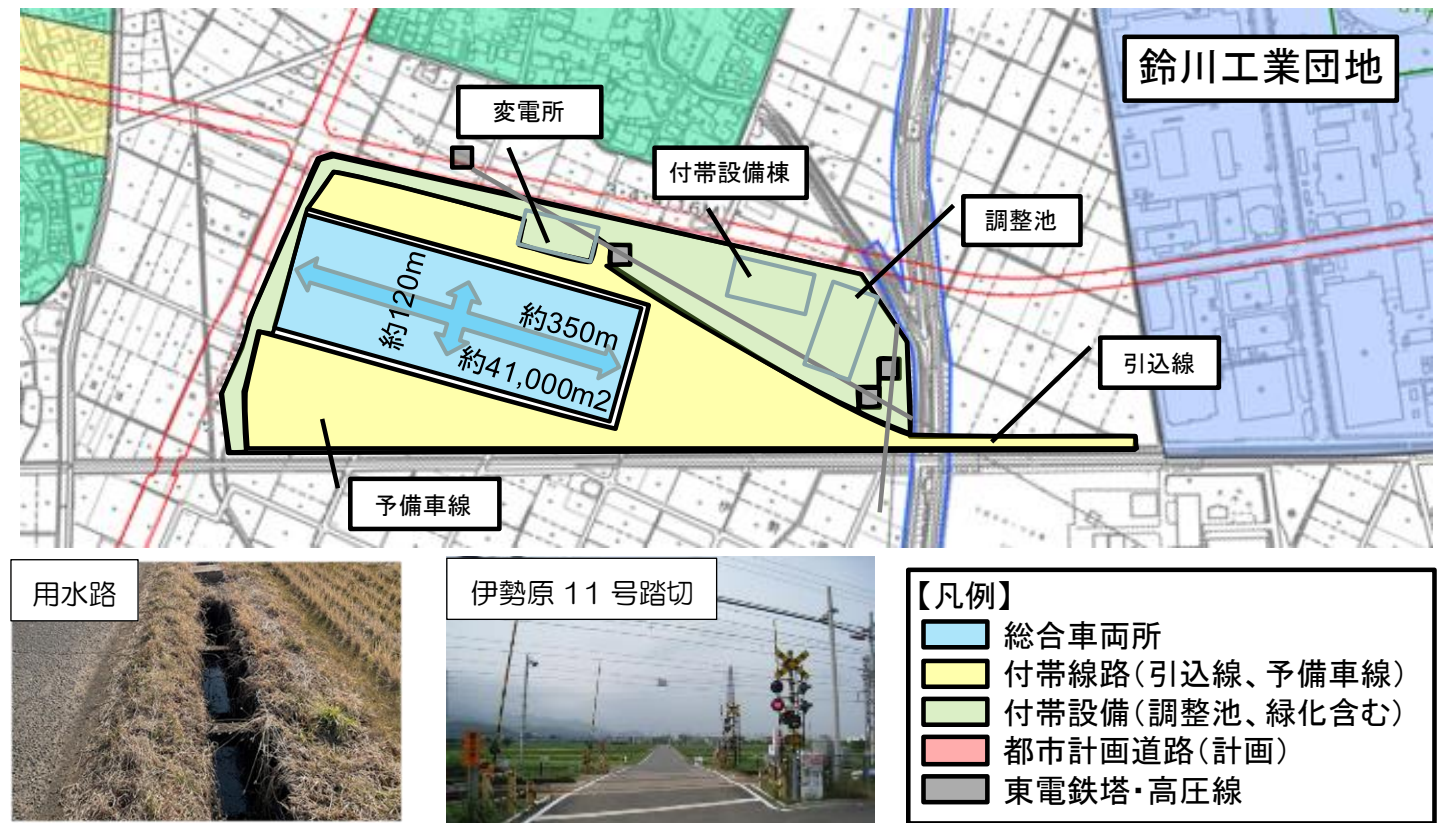
移転先候補地は、小田急線沿線の中で、敷地の形状や道路配置、災害リスク等を考慮した結果、伊勢原市内の「串橋地区※一部笠窪地区、神戸地区」(約15ha)が唯一の候補地となりました。



(3) 候補地の現状について

候補地は、大部分が農地として使用されております。
また、既存市道・農道・農業用水路・踏切があるため、これらの機能回復については、今後関係者と協議を進めてまいります。

総合車両所配置イメージ(案)



(4) 総合車両所を活用した地域貢献施策イメージ(案)について

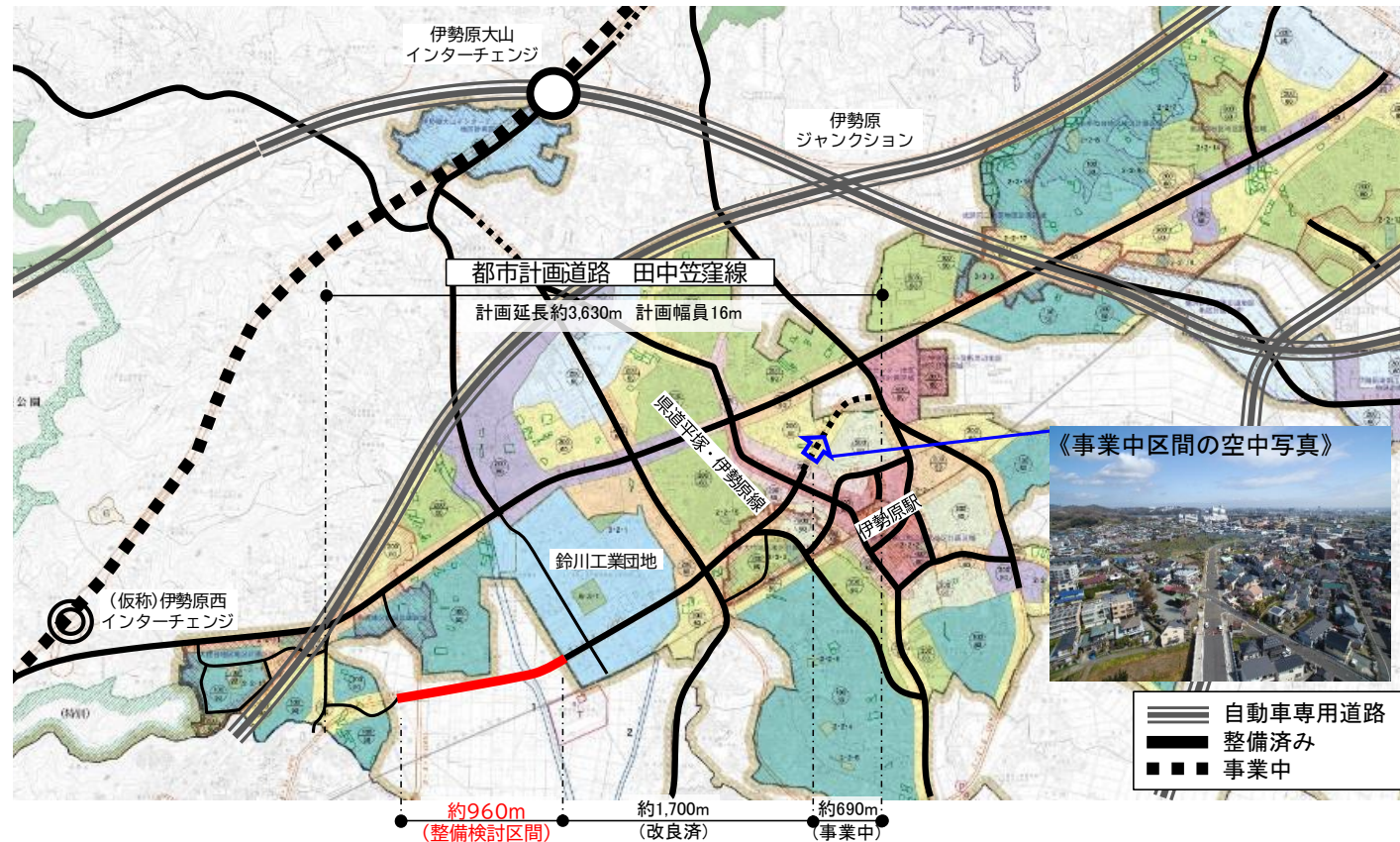
地域の学校と協力した課外授業や、体験教室、地域や自治体と連携した防災体制の整備等について、今後、検討してまいります。



2 都市計画道路 田中笠窪線 整備事業について

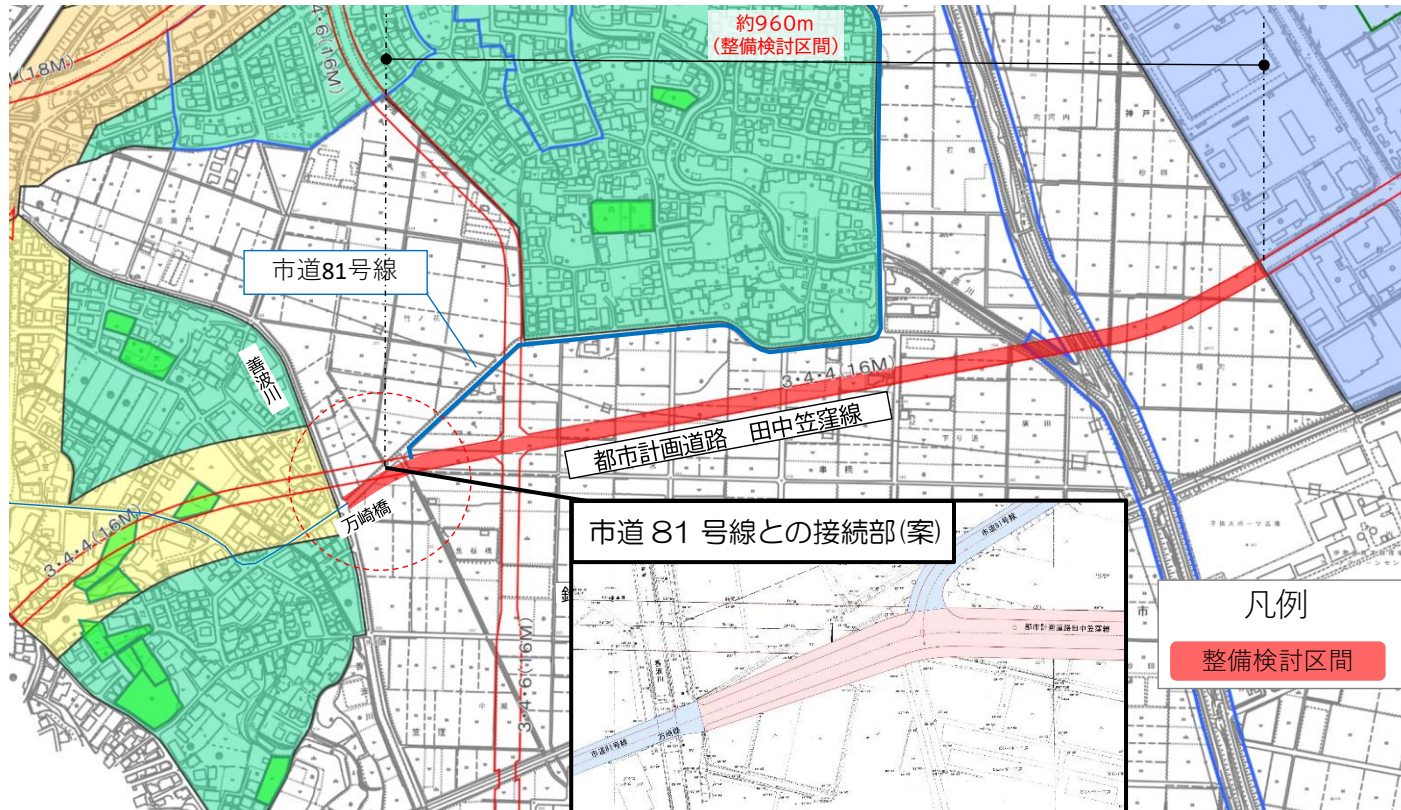
(1) 田中笠窪線の概要

市内の東西交通を支える重要な路線である田中笠窪線は、新東名高速道路の全線開通による市内の新たな交通需要が見込まれる中、早期の機能発揮が求められています。



(2) 整備検討区間

現在検討している概ねの区間は次のとおりです。



※現時点の案となるため、今後、警察協議等を進めていく中で変更になる場合があります。

3 連携協定と全体スケジュール (想定)

新たな総合車両所の建設計画と、田中笠窪線整備事業が相互に協力し連携を図るとともに、これらの事業を契機とした新たなまちづくりについて、伊勢原市と小田急電鉄(株)がパートナーシップにより、近未来のスマートモビリティ社会へ向けた持続可能なまちづくりに取り組みます。

全体スケジュール (想定)

	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9~14年度	R15年度
計画公表	2月 土地所有者説明	3月 計画公表					
総合車両所	事前準備等	鉄道施設変更認可(鉄道事業法)	環境アセスメント	土地収用法事業認定	関係機関協議等		操業開始
		用地関係	用地測量・補償説明等	用地契約			
		建設工事	現況測量・地質調査・設計等	盛土・基盤整備 建設工事			
都市計画道路 田中笠窪線	現況測量・道路設計等	用地測量・用地契約・橋梁整備・本線整備等					
まちづくり						新たなまちづくりの検討	

4 今後のお願い事項

(1) 現況測量・地質調査・用地測量 (両事業共通)

今後、詳細な計画を立案するために、現地の測量調査や地質調査を進めさせていただきたいと考えています。その後、用地測量や物件調査等、用地の御協力をお願いさせていただく予定です。

なお、作業に際しては、敷地内に立ち入らせていただくことがあります。敷地内に立ち入る際には、お声がけ等させていただきますので、御協力をお願いいたします。

(2) 環境アセスメント (総合車両所建設計画)

新たな総合車両所の建設計画については、今後、環境アセスメントの手続を約3年間かけて行っております。その中では、周辺地域説明会を行った後に、現地の環境調査を約1年間実施します。

環境調査に当たっては、調査員や調査車両の出入り等がありますが、安全に十分留意し作業を行ってまいりますので、御理解頂きますようお願いいたします。

